

宮城県津波浸水想定の設定に関する検討会（第1回）
議事概要について

1. 検討会の概要

日 時：令和2年7月30日（木）

場 所：宮城県庁8階土木部会議室

出席者：今村座長、松澤委員、越村委員、日野委員、加藤委員、佐藤委員、
国土交通省東北地方整備局河川部堀井地域河川課長（オブザーバー）
総務部千葉危機管理監（オブザーバー）

なお、検討会の議事については、県の情報公開条例第19条に基づき、非開示情報が含まれることから、非公開とした。

2. 議事概要

宮城県沿岸における津波浸水想定について、採用する津波波源モデル及び計算条件等について、事務局から説明し、委員間で議論を行った。委員からの主な意見は次のとおり。

○最大クラスの津波について、隣県と調整を行う必要がある。

○堤防の破堤条件について、二線堤（高盛土道路等）は、非破壊を基本としているが、越流時の水深や継続時間、また、盛土構造物の表面被覆状況によって変わると想定できるので、非破壊条件のシミュレーション結果の水深や流速の時系列結果を確認した上で、盛土構造物が破壊しないか判断すべきである。

○計算条件の潮位条件について、全国的に朔望平均満潮位が上昇している地域があることから、最新のデータを使用することに留意するのが良い。